

公共下水道水洗化状況及び今後の進め方について

【資料6】

1 公共下水道水洗化状況（各年度末）

処理区	年度	処理区域 内人口 (人)	対前年 度増減	水洗化 人口 (人)	対前年 度増減	未水洗化 人口 (人)	対前年 度増減	水洗化率 (%)
中央 (本町・東・ 南・北・大根・ 西)	H24	103,670	904	96,182	1,034	7,488	△ 130	92.8
	H25	103,663	△ 7	96,127	△ 55	7,536	48	92.7
	H26	103,884	221	96,201	74	7,683	147	92.6
	H27	103,733	△ 151	95,853	△ 348	7,880	197	92.4
西部 (西・上)	H24	5,117	△ 8	3,804	50	1,313	△ 58	74.3
	H25	5,072	△ 45	3,830	26	1,242	△ 71	75.5
	H26	5,029	△ 43	3,845	15	1,184	△ 58	76.5
	H27	4,758	△ 271	3,610	△ 235	1,148	△ 36	75.9
大根鶴巻 (大根・鶴巻)	H24	30,245	665	25,207	504	5,033	161	83.3
	H25	30,920	675	25,796	589	5,124	91	83.4
	H26	31,437	517	26,329	533	5,108	△ 16	83.8
	H27	32,395	958	27,441	1,112	4,954	△ 154	84.7
計	H24	139,032	1,561	125,193	1,588	13,834	△ 27	90.0
	H25	139,655	623	125,753	560	13,902	68	90.0
	H26	140,350	695	126,375	622	13,975	73	90.0
	H27	140,886	536	126,904	529	13,982	7	90.1

2 水洗化できない理由（H27・H26年度）

順位	水洗化できない理由	H27訪問	H26訪問
1	経済的理由（資金不足・年金生活・工事高額等）によるもの	24.5 %	19.2 %
		225 件	141 件
2	空家 または、入院等により長期不在のため	16.7 %	7.5 %
		153 件	55 件
3	家屋が老朽化しており、現状のまま手を加えるつもりがないため	12.1 %	3.4 %
		111 件	25 件
4	地形等により、接続工事の施工が困難のため	4.2 %	1.8 %
		39 件	13 件
5	家屋の新築、改築の予定があるため（時期未定）	4.1 %	3.3 %
		38 件	24 件
6	浄化槽を設置して間もない または、不便を感じないため	3.7 %	0.7 %
		34 件	5 件
7	水道使用水量が多く、下水道使用料が高額になるため	3.2 %	1.8 %
		29 件	13 件
8	下水道接続への理解を得られないため	2.2 %	0.3 %
		20 件	2 件
9	地主の承諾が得られず、接続工事ができないため	1.4 %	0 %
		13 件	0 件
10	接続工事には他人の土地利用が必要となるため	0.2 %	0.4 %
		2 件	3 件
	接続予定なし（理由が聞き取れなかったもの）	14.2 %	42.8 %
		130 件	314 件
	工事店に依頼済み、依頼予定、依頼検討中	13.5 %	18.8 %
		124 件	138 件
計		100 %	100 %
		918 件	733 件

※ 水洗化普及員が3,140件/年(H27)、2,722件/年(H26)の訪問したうち、未接続理由の回答が得られたもの。

留守	2,222 件	1,989 件
----	---------	---------

3 水洗化普及促進実績

(1) 水洗化普及訪問件数

	年度	H24		H25		H26		H27	
		件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数
訪問実績	訪問件数及び日数	3,903	127	3,273	150	2,722	127	3,140	121
	備考	うち1月から水洗化普及員+職員(平日)のペア 429件12日		うち職員のみ(平日) 419件17日		うち職員のみ(平日) 174件8日		うち休日訪問 2回/月(水洗化普及員1人+職員1人) 975件15日	

※ 原則、水洗化普及員2名（特定職員・土日を含み週4日勤務）がペアで訪問

(2) 水洗化普及訪問による接続実績

	年度	H24		H25		H26		H27	
		接続件数及び訪問回数	接続件数 訪問回数	接続件数 訪問回数	接続件数 訪問回数	接続件数 訪問回数			
接続実績	接続件数及び訪問回数	440	1,284	523	2,101	253	1,264	291	1,470
	排水設備確認申請件数	1,232		1,342		1,038		1,100	
	接続割合	35.7%		39.0%		24.4%		26.5%	

※ 接続件数は、排水設備確認申請のうち、水洗化普及員が過年を含めて1回以上の訪問実績があるもの。

4 今後の水洗化普及促進の進め方

目標	年度	H28	H29	H30	H31	H32
	水洗化率	91.4%	92.4%	93.2%	94.1%	94.8%
処理区域内人口		141,280	141,676	142,073	142,471	142,869
水洗化人口		129,121	130,853	132,362	134,096	135,450

課題	<p>①公共下水道（污水）を整備した翌年度から処理開始を行い、その初年度から3年間は毎年訪問し、その後はおよそ2年に1回訪問しているが、会えないケースが多い。そのため、訪問の頻度を高めることや、時間帯を変えるなど、会うための方法を考える必要がある。</p> <p>②未接続者については、紙ベースの「未水洗化家屋台帳」で管理しており、処理開始年度、処理区域、家屋の所在地及び築年数、便所の種類、持ち家・借家・アパートの別、未水洗化理由などの情報を整理・分析することができていない。そのため、より効率的、効果的な水洗化普及業務を行うためには、台帳のデータ化をすることが必要である。</p> <p>③水洗化率は、住民基本台帳人口により算出されるので、店舗・事業所や住民登録がない人は率に反映されていない。そのため、実際的水洗化普及状況や水洗化普及業務の成果を把握するに当たっては、家屋の接続率も指標として取り入れる必要がある。</p>
----	--

進め方のポイント	<p>①未接続者への訪問頻度を増やすなどすること。</p> <p>②未水洗化家屋台帳をデータ化し、それを基に戦略的な水洗化普及業務をすること。</p> <p>③家屋の接続率を指標に取り入れること。</p>
----------	--

方法	<p>平成29年度から33年度までの5年間の料金等業務包括委託に、水洗化普及業務を含めて、民間事業者へ委託する。</p>
	<p>メリット</p> <p>①現在まで、水洗化普及員2名の体制で実施しているが、委託により従事者数の増加が図られ、未接続者への訪問頻度の増加等を見込める。</p> <p>②現在は、未水洗化家屋台帳の集計作業等が困難であるが、委託によりシステムによるデータ管理が可能となり、情報を多角的に整理・分析することで、また、家屋の接続率を指標に取り入れることで、より効率的・効果的な水洗化普及業務を見込める。</p>
	<p>課題</p> <p>①未接続の理由が下水道整備工事に起因しているような場合、委託事業者では解決できない。</p> <p>②未接続者に関する情報は全て個人情報であり、条例に基づく徹底した管理が必要である。</p>
進め方	<p>①未水洗化家屋台帳をデータ化し、水洗化普及戦略を立案する。</p> <p>②水洗化普及戦略に基づき、水洗化普及業務従事者を増員するなどして、訪問頻度を増加するなどする。</p> <p>③水道検針等の他の業務の情報を共有し、水洗化普及業務に活用する。</p> <p>④下水道整備が完了する時期を見据え、未接続者への新たな奨励制度を検討する。</p>